



# 花巣蜂

は ち す は な

令和7年2月28日 第11号  
**新潟市立赤塚中学校**  
 全校生徒146名 男子77名 女子69名  
 TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313  
 E-mail [j703akatsuka@city-niigata.ed.jp](mailto:j703akatsuka@city-niigata.ed.jp)

## ネガティブをポジティブにかえるマインドセット

井戸から汲み上げた水は、夏でも冬でも水の温度は 18℃でほぼ変化しません。これは客観的な事実です。しかし、夏に飲む井戸水は冷たく感じるし、冬に飲む井戸水は温かく感じます。つまり、18℃という水の温度は客観的に同じですが、その温度をどう感じるかは私たちの「主観」によります。

また、ある医薬品の効果を伝える場合、一般的に「90%の人が効果を実感しました」と効果の高さを強調して提示します。けして、「10%の人は効果を実感できませんでした」と効果を得られない可能性を強調して提示することはしません。なぜなら、その医薬品に対して否定的な印象をもたれることが多いからです。このように、客観的に同じ情報でも、提示する方法によって人々の判断や意思決定が変化する現象があります。この現象を「フレーミング効果」と呼びます。言い換えると、情報の「枠組み」(フレーム)によって、人々の情報の受け止め方や、それに対する反応は異なるということです。



どんな人にも個性や特徴がありますが、「それをどうとらえるか」=「枠組み(フレーム)をかえること」によって、ネガティブな個性や特徴をポジティブな個性や特徴にかえることができます。例えば、「気が弱くて、なかなか行動できない人」は、見方を変えれば「慎重で、よく考えてから行動する人」ともいえます。弱み(短所)の裏側に、その人の強み(長所)があるのです。このように、物事を見る「枠組み」(フレーム)をかえて、違う視点でとらえることを「リフレーミング」と呼びます。

「リフレーミング」により「物事の見方」をかえると、「受け止め方」がかわります。自分の中で弱み(短所)だと思っていることも、見方を変えると強み(長所)にかわります。そして、見方がかわると世界がかわります。もし、自分の強み(長所)がわからないという人がい

### リフレーミングの例

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| ・内向的     | → 穏やかで謙虚、集中力がある         |
| ・神経質     | → 物事の変化に敏感、繊細で思慮深い      |
| ・怒りっぽい   | → 正義感が強い、課題を改善できる、感情が豊か |
| ・飽きっぽい   | → 興味が幅広く、多様なことに目を向けられる  |
| ・集中力がない  | → 好奇心が旺盛、気配り上手          |
| ・人のせいにする | → 責任の分担をマネジメントできる       |
| ・利己的     | → 合理的自分のメリットを考える力が強い    |
| ・自分勝手    | → 自分なりの考えがある、自己主張できる    |

たら、まず自分がダメだと思うことを挙げてみましょう。そして、「リフレーミング」で違う視点からとらえてみると強み(長所)にかわります。そして、こうした考え方が習慣化すると、他の人の強み(長所)を見つけるのもうまくなります。他の人の悪口を言うよりも、相手のいいところを認められるようになるのです。

このように、少しマインドセット(心構え)をかえると世界がかわり、子どもも、大人も、みんな、必ず幸せになれます。まず、「幸せになろう」と思うこと。そこから幸せな人生が始まります。



12月に実施しました学校評価に関わるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒のみなさん、保護者の皆さまからいただいた貴重な回答結果を、次年度の教育ビジョンと重点項目の設定に活用し、今後の教育活動の工夫と改善を図ってまいります。

**重点1 主体性と協働性を発揮し、広い視野から集団と個人の Well-Being を考える生徒**

【方策・手立て】

- ・他者と協働的に学ぶことにより、自分の考えを形成したり、言語化したりできる活動を工夫する。
- ・意見を表明したり、交流したりする機会を計画的に設け、タブレット端末を積極的に活用する。
- ・総合学習や特別活動において、探究的な学習や集団の課題を解決する過程を重視する。

【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしている （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	70%以上	後期	65.0%	C
		前期	65.5%	
イ 授業で、自分の考えを進んで伝えている （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	前年度比+5%以上	後期	58.6%	A
		前年度	48.5%	

【成果と課題、次年度への展望】

評価対象項目 ア については、前期に引き続き達成基準を満たすことができませんでした。しかし、進路選択という課題のある3年生は、79.5%の生徒が肯定的評価をしています。学習や生活に見通しをもつことが重要であることが明らかになりました。評価項目 イ については、前年度比+10.1%で達成基準を満たすことができました。OJT研修(職員1 授業実践)や夏季・冬季休業中の職員研修で、振り返りの重要性を確認し、それを着実に実践した成果が結果に結びついていると思われます。

次年度は、「見通し」をもって「行動」し、「振り返り」から次の「見通し」をもつ、「AARサイクル」を意識し、授業をはじめ、学校行事などの特別活動で意図的・計画的な取組を行います。

**重点2 生涯スポーツの基盤を身に付け、心身の健康の保持・増進に向けて実践する生徒**

【方策・手立て】

- ・ライフの三点固定（起床・就寝・家庭学習開始時間）の記入を徹底し、継続した取組を行う。
- ・健康に関する学習を通して、食・睡眠・歯磨きなどの生活習慣の大切さについての指導を行う。
- ・学校運営協議会や保小中連携推進協議会の活動と連携し、メディアコントロールの実践力を高める。

【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア ライフの三点固定（起床・就寝・家庭学習開始時間） の取組を通して基本的な生活習慣が身に付いた （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	70%以上	後期	75.7%	A
		前期	74.6%	
イ 学校へ行く日に7時間以上の睡眠をとる （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	前年度比+10%以上	後期	70.0%	C
		前年度	66.9%	

【課題と課題、次年度への展望】

評価対象項目 ア については、前期同様に達成基準を上回ることができました。朝学活・終学活のルーティンとしてライフの三点固定の記入を徹底させること、学級への呼び掛けや教育相談時の声掛け等に意識的に取り組んだ成果と捉えています。評価対象項目 イ については、達成基準を下回ったものの、前年度比+3.1%で前年度を上回ることができました。家庭学習を平日100分以上行っている

る生徒（前期 13.5%→後期 13.6%）、60 分以上行っている生徒（前期 45.4%→後期 47.1%）は増加傾向にあり、平日に1時間以上ゲームをしている生徒（前期 48.2%→後期 46.4%）は減少傾向にあります。ちょうどゲーム時間が減少した分、家庭学習時間が増加したようです。これは、自分の行動や目標に向かって注意をコントロールする機能（「実行機能」と呼ばれています）が、ご家庭での適切な支援のおかげで向上し、適切な家庭学習の時間を確保した上で十分な睡眠時間がとれるように自己調整できた成果と捉えています。ご家庭での適切なご支援に感謝申し上げます。

次年度は、「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」ガイドラインなどを活用し、一人一人の生徒が最適に学び、生活できる環境を自己調整するため、「実行機能」に焦点を当てた取組を行います。

### 重点3 相手をおもいやり、自分らしくのびのびとよりよい生き方を考える生徒

#### 【手立て】

- ・「傾聴」を核として、誰もが安心して学習・生活できる学級づくり・集団づくりに努める。
- ・多面的な生徒理解に基づく信頼関係、共感的な人間関係づくりを意識した指導・支援に努める。
- ・不登校や学校不適応を示す生徒について、校内委員会を中心に外部機関と連携して対応する。

#### 【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 自分には良いところがある （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	80% 以上	後期	78.6%	B
		前期	81.7%	
イ 赤塚中の「傾聴」を心がけ、相手の話を真剣に聞く （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	90% 以上	後期	95.0%	A
		前期	86.6%	

#### 【課題と課題、次年度への展望】

評価対象項目 ア については、前期及び達成基準を下回ってしまいましたが、1年生と3年生で「あてはまらない」と回答した生徒は0%となりました。「学級づくりは、習慣づくり・集団づくり」を合言葉に、Q-Uテスト（「やる気のあるクラス、いごちのよいクラスにするためのアンケート」）の結果を全職員で分析し、多面的な生徒理解に基づく取組を実施した成果と捉えています。評価対象項目 イ については、前期比+8.4%で達成基準を上回ることができました。学年別にみると、1年生が81.6%→88.5%（「あてはまる」15.8%→37.1%）、2年生86.7%→96.8%（「あてはまる」41.7%→52.5%）、3年生90.9%→97.7%（「あてはまる」52.3%→63.6%）となり、特に「あてはまる」と回答した生徒の割合が大きく向上している点に成果が表れていると捉えています。

次年度は、生徒の自己肯定感の向上を基盤とし、「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者とつながる力」を《向上を目指す3つの力》と位置づけ、生徒に「価値」を意識づけるための関わり（「リフレーミング」など）の意図的・常態的な取組、保小中連携推進協議会と連携した取組を行います。

### 令和6年度 後期学校評価（保護者アンケート）の結果

項目	質問内容	今年度 ※1 肯定的 評価割合	※2 単年度 評価	※3 前年同期 比較評価	前年同期 肯定的 評価割合
1	学校の取組や教育方針が学校のホームページや各種たよりなどでよく分かる。	94.2%	◎	○	89.7%
2	地域と学校パートナーシップ事業やコミュニティ・スクールについて内容をよく知っている。	59.4%	●	●	62.1%
3	学校は、お子さんの困り感に気づき、配慮・支援している。	88.4%	○	△	88.5%
4	全体として赤塚中学校の教育に満足している。	91.3%	◎	○	86.2%

5	お子さんと中学校卒業後の進路や将来の夢についてよく話している。	82.6%	○	○	79.1%
6	お子さんは自然環境保全の意識が高いと思う。	72.5%	△	○	63.2%
7	お子さんは思いやりの心や仲間を大切にしていると思う。	98.5%	◎	△	97.7%
8	お子さんはあいさつや服装、時間を守るといった基本的な生活習慣が身についていると思う。	88.4%	○	○	80.4%
9	お子さんを通じて、学校からの健康診断結果のお知らせや保健だよりを目を通してしている。	85.5%	○	●	89.6%
10	学校からの検診結果や保健だよりなどをもとに、必要な治療や検査を受けるなど、日頃から健康づくりをしている。	88.4%	○	●	93.1%
11	お子さんとの会話などで、お子さんは先生に相談しやすいと感じていると思う。	78.3%	△	○	74.4%
12	スマホやゲーム機器などの利用で、お子さんとの約束事がある。	68.1%	▲	●	73.6%
13	お子さんは家庭において何かしらの役割（家庭での手伝いや仕事）を担っている。	52.2%	●	●	58.6%
14	お子さんはどんな理由でもいじめはよくないと考えている。	100%	◎	○	97.7%
15	お子さんは朝食を毎日しっかりと食べている。	98.5%	◎	○	94.3%
16	お子さんの学校生活は楽しく充実していると感じる。	92.7%	◎	△	92.0%
17	後期の PTA 学年行事（個別懇談会なども含む）に参加した。	100%	◎	△	100%
自由記述	あんしんメールによる遅刻・欠席連絡については、継続を希望するご意見が多数でした。また LINE による遅刻・欠席連絡を行っている学校があり、導入を検討してほしいとのご意見もいただきました。LINE スクール連絡帳というサービスがあり、無料で遅刻・欠席の連絡や災害時の安否確認ができることが分かりました。導入については、検討し、新年度に回答いたします。				

※1 「肯定的評価割合」= 回答1「思う」・回答2「やや思う」等の合計

※2 「単年度評価」= 90%以上:◎、90%~80%:○、80%~70%:△、70%~60%:▲、60%未満:●

※3 「前年度比較評価」= +2%~:○、±2%:△、-2%~:●

## 1年生 技術科 学習支援ボランティア ありがとうございました

1月15日~2月26日までの毎週水曜日、1年生技術科木工製作の授業に、3名の学習支援ボランティアの方からご支援をいただきました。のこぎりで切断したり、切断した部分にかんなをかけたり、サンドペーパーで磨いたり、部品の接合部を木工ボンドで接着したり、くぎを打つ部分にきりで穴を空けてまっすぐにくぎを打ったり、様々な製作工程で、生徒の安全を見守り、少し手を貸すことによって円滑に作業を進めることができるように、細心の注意と温かなまなざしでご支援いただきました。

学級だよりの『幸せメガネ』にも、感謝のコメントが寄せられていました。



## 3月の主な予定

3/3 (月)	全校式予行 卒業式準備	3/17 (月)	後期終業式	
4 (火)	第78回卒業証書授与式 3学年PTA 解散式	18 (火)	学年末休業開始	
5 (水)	公立一般選抜 1・2年実テ 専門委員会	19 (水)	公立二次選抜	
6 (木)	公立一般独自検査 ALT	20 (木)	春分の日	
7 (金)	学習参観 1・2学年PTA 総会	21 (金)	公立二次選抜合格発表	
10 (月)	公立一般追検査	24 (月)	離任式	
11 (火)	公立一般独自追検査 フッ素洗口	26 (水)	入学オリエンテーション	
13 (木)	公立合格発表	4/7(月) 始業式 17(木) 3年全国学テ 20(日)~3年修学旅行		